molten®
From the Inside Out

全自動運転 ＋ 体圧可視化
ロボティックマットレス

スコープ

取扱説明書

スコープについて

対 象 者：体動が少ない人（一部介助）～体動のない人（全介助）
用途･特徴：全自動運転（マットレスが最適なモードを自動的に判定）
①仰臥位の圧対策（静止-体圧調整／除圧-圧切替／除圧-体位変換）
ベッド背上げ時の底着き･背抜き圧対策
②寝床内のむれ対策
③臀部周辺の圧の可視化

上記以外の対象者や用途では使用しないでください。
利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。
製品を適切にご使用いただいても床ずれを防止できないことがあります。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害･財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⃠ ：してはいけない「禁止」を意味します。

(!) ：必ず実行していただく「強制」を意味します。

はじめに
○安全上の警告･注意事項……P1
○各部の名称 ……P2

運搬･設置するときに
○製品の持ち方 ……P3
○設置の方法 ……P3

使用するときに
○リモコンの操作および機能の説明 ……P5
【各種設定方法】
・全自動設定 ……P5
・各種動作モードの選定 …P6
・体圧センサーおよび体圧分布モニター ……P7

このようなときに
○特別な身体状況の方への対応方法 ……P8
○緊急時の対応方法 ……P8
○停電時の対応方法 ……P9
○故障かなと思ったら ……P9
○注意ランプの光り方 ……P11

保守･点検するときに
○お手入れの方法 ……P12
○フィルターの交換方法 …P13
○電源コードおよびリモコンの収納方法･交換方法 ……P13
○点検項目一覧表 ……P14
○自動点検の方法（セルフチェックモード）…P15
○保管の方法 ……P16

仕様
○仕様 ……P19

安全上の警告・注意事項

⚠ 警告

運搬・設置するときに

①**電源の電圧および許容電流値に注意してください。**
本製品は国内専用AC100V、14Wです。故障や発熱による事故につながるおそれがありますので、海外で使用しないでください。
やむを得ず発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源（正弦波）に近いインバータ式をご使用ください。
なお、発電機の使用による製品の故障・破損については、当社は一切の責任を負いかねます。

②**ベッドの幅や長さに合ったものをご使用ください。**
ベッドサイドレールとの隙間などにはさまり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

③**ベッドで使用する場合は、安全のため必ずサイドレールを使用してください。**
また、マットレス上面より高さ22cm未満のサイドレールは使用しないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。

④**マットレスの頭側・足元側を間違えないでください。**
自動体位変換の位置が変わるため、転落するおそれや、マットレスが正常に作動しないおそれがあります。

⑤**電源プラグは余すことなくしっかり奥まで挿し込んでください。**
感電につながるおそれや燃えやすい物が近くにあると火災につながるおそれがあります。

⑥**電源プラグを濡れた手で抜き挿ししないでください。**
感電や故障につながるおそれがあります。

⑦**電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。**
電源プラグの変形や断線から、故障や感電につながるおそれがあります。

⑧**タコ足配線はしないでください。**
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。

⑨**熱い物の近くに置かないでください。**
変形・故障・火災につながるおそれがあります。

⑩**ベッドや機器類のキャスターなどで電源コードやリモコンコードをはさまないでください。**
感電や故障につながるおそれがあります。

使用するときに

⑪**製品の改造はしないでください。また、指定外の部品は使用しないでください。**
火災や故障につながるおそれがあります。

⑫**内蔵式ポンプユニットやリモコンに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。**
感電や故障につながるおそれがあります。

⑬**電源プラグにほこりを付着させないでください。**
感電や火災につながるおそれがあります。乾いた布などで取り除いてください。

⑭**マットレスの中心から外れた位置で寝ないでください。**
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。やむを得ない場合は、除圧効果や体位の崩れなど安全を確認の上、使用してください。

⑮**コードやチューブがある機器類が本製品とベッドやベッドサイドレールとの隙間にはさまれないようにしてください。**
体位変換時や背上げ時に、コードやチューブがつぶれたり抜けたりなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

運搬・設置するときに

①**本製品の上に厚手のマットレスやパッドを敷かないでください。**
本来の機能が発揮されません。

②**本製品の内蔵式ポンプユニットに他の製品を接続して使用しないでください。**
本来の機能が発揮されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用するときに

③**リモコン操作は、製品をよくご理解の上行ってください。**
本製品は利用者様の身体状況に応じて全自動運転をおこないます。不要な機能を止めたい時のみボタンを操作してください。

④**リモコンの体圧分布モニターを押さえつけたり、ぶつけたり落としたり衝撃を与えないでください。**
モニターの液晶部分が割れて、体圧分布が正確に表示されない原因になります。

⑤**体圧分布モニターの液晶画面が割れた場合は、漏れ出た液体に触らないでください。**
皮膚の炎症などの原因になります。
万が一、口に入った場合はすぐにうがいをする、目に入ったり皮膚に付着した場合は清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師とご相談ください。

⑥**多汗症（疾病により汗が多い）の方がむれ対策機能を使用する場合は、気化熱により体温が低下する場合がありますのでご注意ください。**
むれ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や冷房機能ではありません。

⑦**電気式毛布などを併用する場合は、現在床ずれのある部位や発生の可能性の部位を避けて使用してください。**
電気毛布の使用は低温やけどになるおそれがあります。低温やけどは一般的に40℃、2時間以上で症状が出ると言われています。

⑧**利用者様の離床中に、マットレス上（臀部周辺）に物を載せたままにしないでください。**
自動体位変換が作動する場合があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

使用するときに

①**針などの鋭利なものを接触させたり、突起物を置かないでください。**
マットカバーやエアセルの破れの原因になります。

②**リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。**
故障につながるおそれがあります。

安全上の警告・注意事項

使用するときに

③リモコンやマットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
故障や破損の原因になります。

④リモコンを寝具の中に入れたり、暖房器具、加湿器に近づけたりしないでください。
リモコンには温度湿度センサーが内蔵されており、むれ対策機能が正常に作動しないおそれがあります。

保守・点検するときに

⑤マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンをマットカバーの収納ポケットにおさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障につながるおそれがあります。

⑥マットレスを折り曲げた状態で保管しないでください。
ウレタンフォームの変形につながるおそれがあります。

⑦浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。

⑧メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
破損や故障につながるおそれがあります。

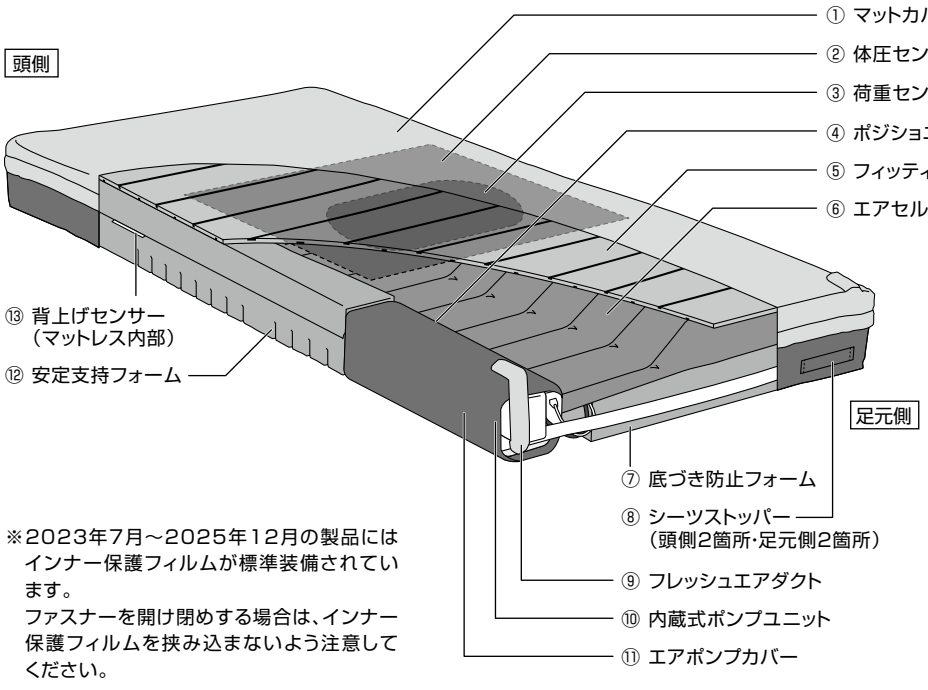
仕様

⑨製品は体重30kg以上の成人の方の使用を想定しています。最大利用者体重は120kgです。
小児の場合は、体位変換しない可能性や、ポジショニングエアセルの位置が合わないおそれがあります。
120kgを超える場合は、㈱モルテン健康用品事業品部お客様窓口までご相談ください。

各部の名称

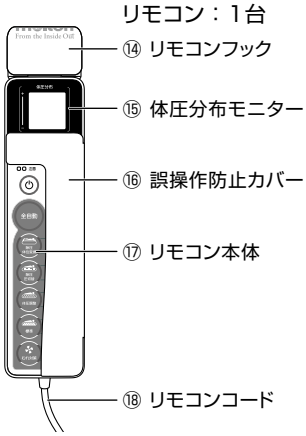
以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

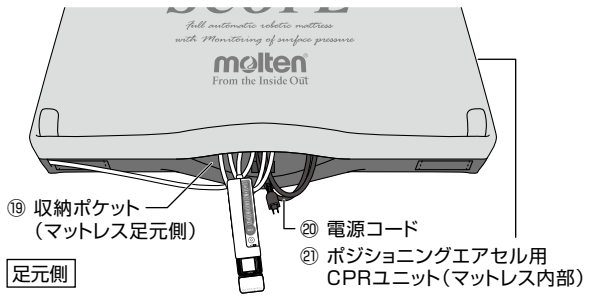
マットレス：1台



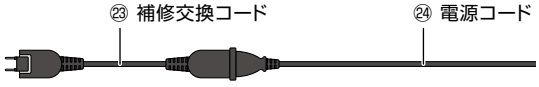
※2023年7月～2025年12月の製品にはインナー保護フィルムが標準装備されています。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。

リモコン：1台





電源コードは先端に補修交換コードが付属しています。

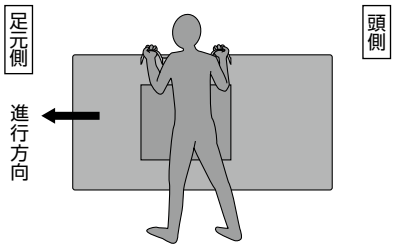


プラグ破損など交換が必要な場合以外は、
補修交換コードは外さないでください。

製品の持ち方

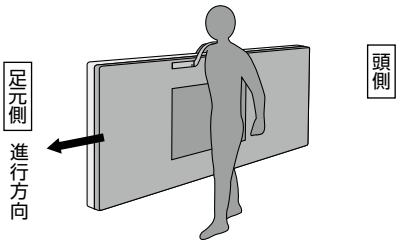
運搬する場合は、下図のように取っ手を持ってください。

一人で運搬する場合



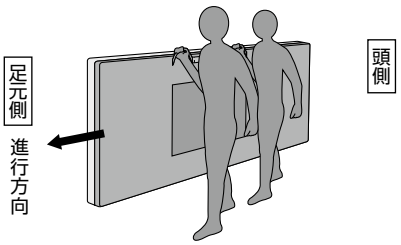
取っ手を持って運搬します。

肩に掛けて運搬する場合



取っ手の真ん中の輪の部分に腕を通して運搬します。

二人で運搬する場合



取っ手を持って運搬します。

注意	運搬程度の短時間であれば、折り曲げても製品への影響はありません。

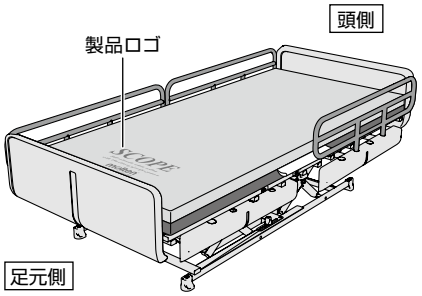
⃠ 内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
⃠ 変形や破損につながるおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。
⃠ 変形や破損につながるおそれがあるので、10台以上積み重ねないでください。
⃠ 変形や破損につながるおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
(!) 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
(!) 電源コード･リモコンをマットカバーの収納ポケットにおさめてください。

注意	浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。 ※サビ･カビの発生や故障の原因になります。

設置の方法

1 マットレス（エアポンプ内蔵）を設置します。

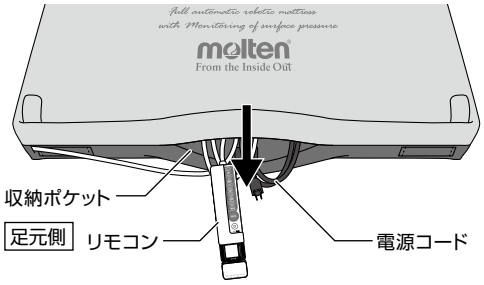
ベッドの上に直接マットレスを置いてください。



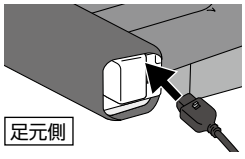
⚠ 警告

①安全のため必ずサイドレールを使用してください。
②マットレスは表裏と頭側と足元側を確認し設置してください。製品ロゴが表面、足元側です。
正しくない場合は、本来の性能が発揮されず症状の悪化や思わぬ事故につながるおそれがあります。
③本製品はリプレイスメントタイプ（ベースマットレス不要）です。必ずベッドの上に直接設置してください。

2 電源コード･リモコンを取り出します。



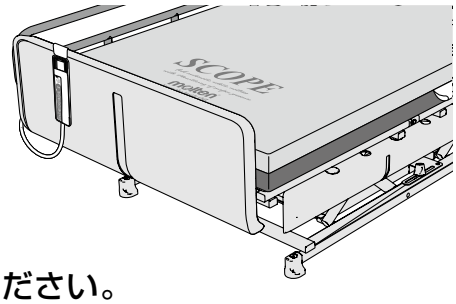
①マットレス足元側の収納ポケットから電源コード･リモコンを取り出してください。
②電源コードをポンプ接続部へ接続してください。



注意	補修交換コードは外さないでください。 ※プラグ破損時などに外して交換できます。

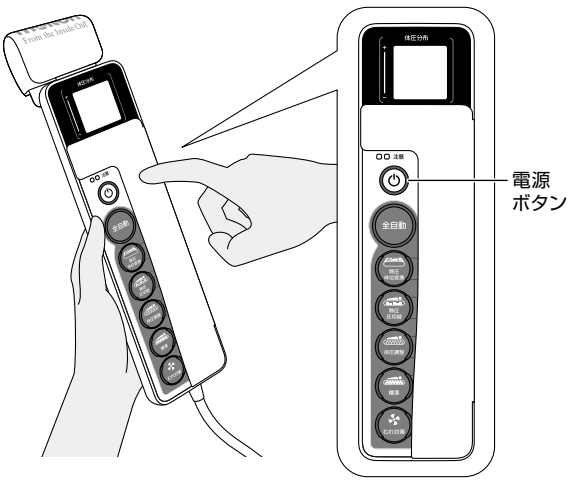
3 リモコンをフットボードに掛けます。

リモコン上部のリモコンフックを、ベッドのフットボードに掛けてください。



注意 リモコンを寝床の中に入れないでください。
設定が変わってしまうおそれがあります。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。



①電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。

②リモコンの【全自動】ボタンを押してください。

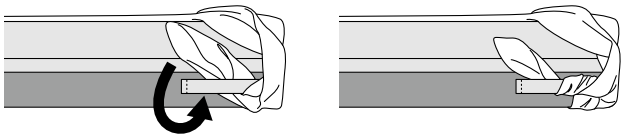
※身体状況ごとや、悪化･回復時に合わせマットレスが最適なモードを自動的に判定、マニュアルでのボタン操作は一切不要。
詳しい設定方法はP5～P7を参照してください。

※スコープはエアセルとウレタンフォームのハイブリッド構造により約8分で空気が充填されるため、マットレスをベットに載せた直後から寝ていただいて構いません。

ⓘ 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

5 シーツの取り付け

四隅のシーツストッパーにシーツを留めることで、シーツがずれにくくなります。



シーツの角を下からシーツストッパーの間に通し、ピンと張ります。
もう一度シーツの角を下からシーツストッパーに通し固定します。

余ったシーツをマットレスの裏側に差し込んで全体を整えます。

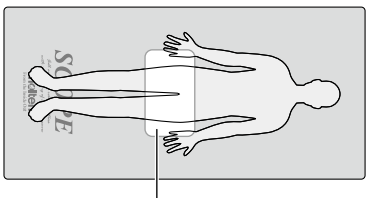
基準シーツ ……フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端を巻き込んでください。
ボックスシーツ ……フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。
防水シーツ ……フレッシュエアダクトを覆わないように取付けてください。
フレッシュエアダクトから出る空気が妨げられ、除湿機能が発揮できません。

注意 シーツの張りすぎに注意してください。本来の性能が発揮されないおそれがあります。

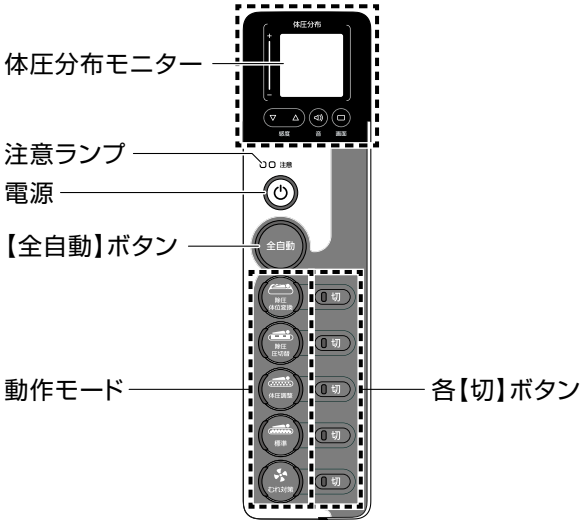
6 利用者様に寝ていただけます。

十分に性能を発揮させるため、マットレスの中央部に寝てください。

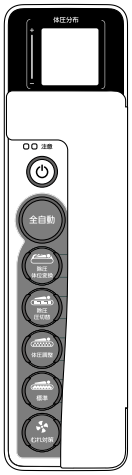
※マットレスに内蔵された荷重センサーにより、利用者様の着床･離床を判定します。
※利用者様の身体状況等により中央部に寝られない場合は、除圧効果や体位の崩れなど安全を確認の上、使用してください。
※ハイブリッド構造を採用し、利用者様が端座位を取ったり、介護者がベット上にひざを置いてケアするときの安定性を確保しています。
※製品は体重30kg以上の成人の方の使用を想定しています。最大利用者体重は120kgです。



リモコンの操作および機能の説明



【誤操作防止カバーを閉じた状態】



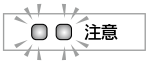
使い始め

① 電源

電源ボタンを押すと電源が入り、リモコン各部のLEDランプが点灯します。
もう1度押すと電源が切れます。

※再度電源を入れ直した場合は、前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態になります。
※全自動設定の場合は、自動体圧調整モードからはじまります。

② 注意ランプ



マットとポンプの異常をLEDランプの点滅と警告音でお知らせします。(P11参照)

リモコンの操作方法

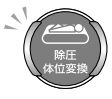
(1)全自動設定

※SCOPEをご使用になる前に設定してください。

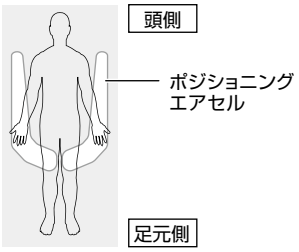
全自動ボタンを押し使用開始してください。全自動ボタンのLED(緑)が点灯します。
マットレスが一定時間ごとに利用者様の体動の有無を感知し、最適なモードを自動的に判定します。
【標準】⇔【体圧調整】⇔【除圧-圧切替】⇔【除圧-体位変換】の順で作動します。

※使用開始時は自動体圧調整モードからはじまります。
※判定状況(作動中の動作モード)はリモコンのLEDランプの表示で確認できます。
※仰臥位から側臥位に変わるような大きな動きが1回、もしくは足を動かすような動きを複数回行った場合に体動と判定します。
ケア介入時の動きでモードが移行することがあります。
※モードの切り替わり判定は約30分毎に行います。

動作モード と動作内容



【除圧-体位変換】
体圧調整・圧切替に加え、除圧のための体位変換動作を行います。
左右のポジショニングエアセルが膨縮することにより、【右上げ】(15分体位変換)⇒【仰臥位】(20分圧切替)⇒【左上げ】(15分体位変換)⇒【仰臥位】(20分圧切替)の動作を繰り返し、1サイクル約70分で行います。
体位変換角度は4度程度です。(低角度の体位変換)
※上記以外の体位変換動作は出来ません。(【右上げ】⇔【左上げ】など)



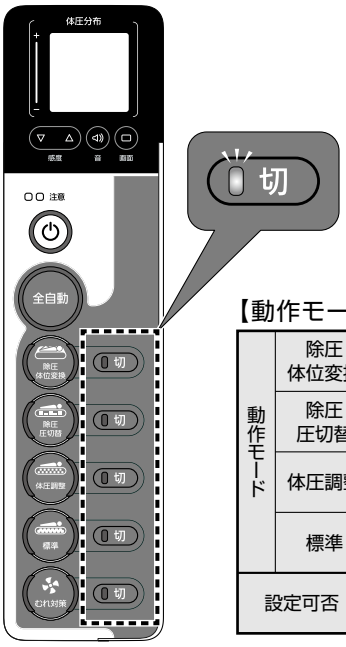
【除圧-圧切替】
体圧調整に加え圧切替の動き(凹凸・除圧)を行います。
身体の50%をエアセルで支え、残り50%で除圧を行います。

【体圧調整】
利用者様の体重や体型に合わせて最適な圧に自動で調整します。
※使用開始時はこの動作モードからはじまります。

【標準】
利用者様が自力で寝返りができる場合は、「静止型　標準マットレス」のように安定性を高くし、寝返りがしやすい状態を保ちます。

【むれ対策】
リモコン内蔵センサーにより、室温が23度以上、かつ湿度50%以上になると自動でONになります。
室温と同じ乾いた空気を足元側から送って寝床内の湿った空気を換気することで寝床内の「むれ」を対策します。
ON時は30分動作⇔15分停止を繰り返し行います。
※【標準】モードの以外のモード時に動作します。
※手動操作による強制ONはできません

⑵各種動作モードの選定



①使わない（止めたい）動作モードを手動で選択することにより、身体状況に応じた動作モードでマットレスを使用することができます。
手動設定中は全自動ボタンLEDは（オレンジ）点灯になります。

②各動作モード表示LEDの右側にある【切】ボタンを押すとLEDが点灯し、OFF（使用しない状態）にできます。
※設定変更が完了するとブザーが1回鳴り、変更後の設定をLED表示します。再度【切】ボタンを押すと、設定を解除できます。

【動作モード組み合わせ設定可否一覧】

動作モード																	
	除圧体位変換		切		切		切		切		切		切		切		切
	除圧圧切替			切	切			切	切			切	切			切	切
	体圧調整					切	切	切	切					切	切	切	切
	標準									切	切	切	切	切	切	切	切
設定可否		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×

マットレスの安全機能

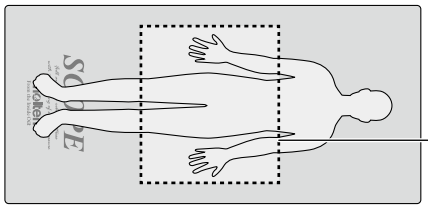
マットレスに内蔵された各種センサーにより使用状況を判定し、最適な状態に調整します。

①マットレスに内蔵された荷重センサーにより、利用者様の着床･離床を判定します。
利用者様がマットレス上にいないときは、離床判定により、【除圧-体位変換】が使用できなくなります。
体位変換中に離床した場合はマットレスがフラットになります。

②マットレスに内蔵された背上げセンサーによりベッドの背上げ状態を判定します。
ベッドが30°以上の背上げ状態になると、自動で背上げモードになります。
体位変換中の場合は、マットレスがフラットになります。
30°以下になると、背上げモードは解除されます。
背上げモードではマットレスを少しかたくして背抜き（除圧動作）を行い調整します。
調整後は元の設定で作動します。背上げモードが解除されるときも背抜き（除圧動作）を行い調整します。
【除圧-体位変換】時は体位変換動作がOFFになり、【除圧-圧切替】となります。

⑶体圧センサーおよび体圧分布モニター

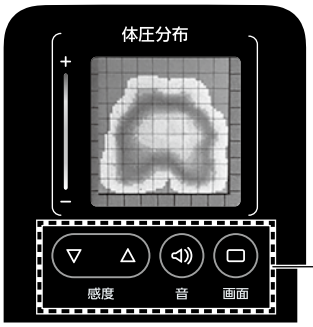
① 体圧センサー



マットレスに内蔵された体圧センサーにより、利用者様の体圧データを計測します。

体圧センサー搭載位置
測定範囲：45×45cm
※センサーの位置は動かせません。

② 体圧分布モニター（リモコン部）



マットレスに利用者様が乗ると、床ずれ好発部位（仙骨・尾骨・大転子・腸骨）である臀部周辺の体圧データが計測され、色に置き換えてリモコン部の体圧分布モニターに表示されます。

※体圧が最も高い部位は赤色で表示されます。
体圧のレベルは、「+（赤→オレンジ→黄色→緑→青→白）−」で表示されます

モニター設定ボタン

モニター設定ボタンと機能

画面

【画面】
ボタンを押すとモニター表示がOFFになります。

音

【音】
表示範囲内で体圧データが最大になった場合に音でお知らせします。
ボタンを押すと音のON／OFFの設定ができます。
モニターの右上に緑色の●表示が出ている場合がON、青色の表示がOFFになります。

感度

【感度】
ボタンを押すと体圧表示の感度が調整できます。
▲を押すと感度が高く、▼を押すと感度を低くすることができます。
調整時はモニター左上に感度レベル（−3〜+4）が表示されます。
※感度は7段階で調整できます。標準は感度レベル（0）になります。

●使用例①
体重が軽く皮膚が弱い人など、より低圧でポジショニングケアをする場合
感度をあげることで、体圧の色が変化しやすくなり、小さな体圧変化が分かりやすくなります。

●使用例②
体重が重く背上げする人など、常時、体圧が高くなる場合
感度をさげることで、体圧の表示範囲が広くなり、高い体圧の変化が分かるようになります。

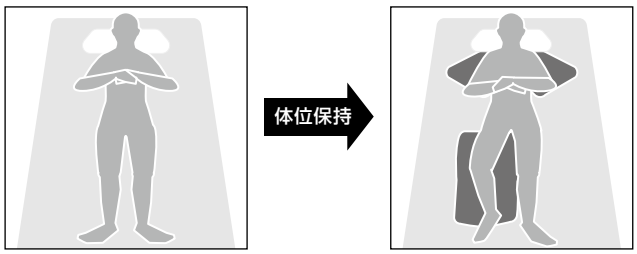
特別な身体状況の方への対応方法

円背や拘縮のあるの方へのポジショニングケアのポイント

①接触面積を増やすため、身体とマットレスの隙間をポジショニングクッションで埋めます。
②しっかりと保持できているか確認するため、すき間に手が入るかどうか確認します。
③皮膚の突っ張り感や衣類のしわをなくすため、ポジショニンググローブで圧抜きをします。

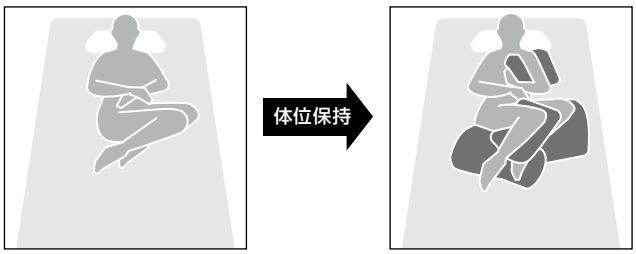
※自動体位変換を行う場合は、ポジショニングクッションがずれないことを確認してください。
※ポジショニングケアとは「体位変換」+「体位保持」であり、体位を入れ換える除圧のための「体位変換」と体圧分散向上のための「体位保持」は別です。

事例①【円背と右ひざ拘縮の利用者様】

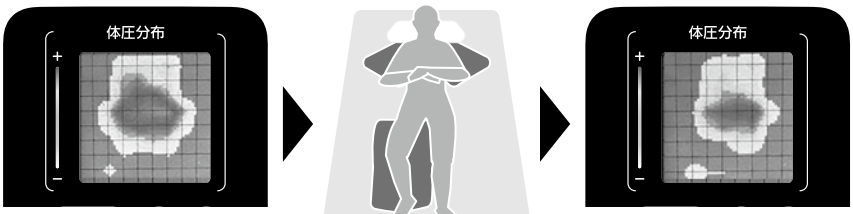


①左右両方の肩の下に入れます。
②頭部から頸部の下に入れます。
③右ひざの下に入れます。

事例②【上肢下肢拘縮と体軸ねじれの利用者様】



①左腕の下と胸との間に入れます。
②ねじれを示す方向に、左脚の下に入れます。
③右脚の下に入れます。
④左脚と右脚の間に入れます。



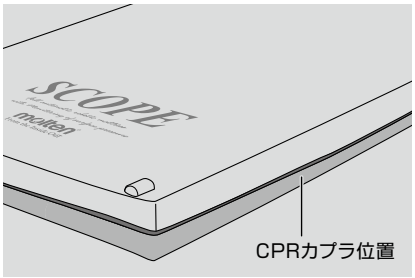
ポジショニングケア前　　ポジショニングケア後

体圧分布モニターの表示を確認し、利用者様の体圧データが高く表示されている場合は、ポジショニングクッションやポジショニンググローブなどを用いて、適切なポジショニングケアを行ってください。

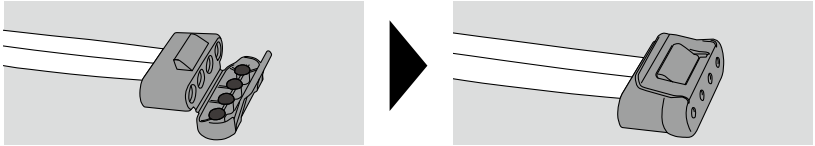
緊急時の対応方法

体位変換中に心臓マッサージなど緊急にマットレスをフラットにする必要がある場合、または体位変換中に停電になった場合は、CPRカプラを開きポジショニングエアセルの空気を抜いてください。
エアセル（本体）の空気を抜く必要はありません。ハイブリッド構造により、そのまま心臓マッサージが可能です。

※CPRカプラを開いても、エアセル（本体）の空気は抜けません。



CPRカプラは足元側から見て右側のCPR表示ラベルそばにあります。
CPRカプラの取っ手を持って開けてください。約20秒で空気が抜けます。
再度マットレス使用する場合は、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



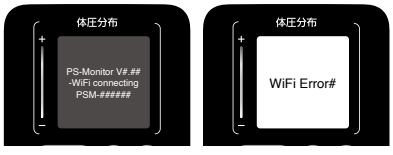
停電時の対応方法

停電時でも利用者様が寝た状態のまま約2週間はエアを維持します。
長時間の停電で、エアセルの空気が全て抜けてしまったとしても、ウレタンフォームのフィッティングフォーム+底着き防止層があるため、従来のウレタンフォーム系静止型マットレス同等の体圧分散性が確保されており、安心してご使用いただけます。但し、空気が抜けた状態では目標とする体圧分散性能は発揮されません。
また、停電復旧後には停電前に設定していた条件に戻るので、再設定の必要がありません。
発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源(正弦波)に近いインバータ式70W以上を使用してください。
なお、発電機の使用による製品の故障・破損については、当社は一切の責任を負いかねます。

故障かなと思ったら

現　象	確認方法	処　置
マットレスがふくらまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれて いますか?	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの 電源ボタンを押してください。(P4参照)
	エアホースが外れていませんか?	エアポンプおよびエアマットレスをつなぐエアホースを 確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか?	エアホースを交換してください。
エアポンプの音がうるさい	足元側の下にかたい物を置いていませんか?	マットレスの下からかたい物を取り除いてください。
リモコン操作ができない	リモコンのLEDランプが消えていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの 電源ボタンを押してください。(P4参照)
寝床内が寒い	フレッシュエアダクトから除湿用の空気が 出ていますか?	むれ設定を【切】にしてください。(P6参照)
寝床内が暑い	むれ対策の設定が【切】になっていませんか?	むれ対策の【切】設定を解除してください。(P6参照)
	フレッシュエアダクトのエアホースが カバーの中で外れていませんか?	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シーツなど 通気性がない物をかぶせていませんか?	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、 通気性のある物を使用してください。(P4参照)
ポジショニングエアセルが ふくらまない	30°以上のベッド背上げをしていませんか?	ベッドの背上げを戻してください。
	CPRカプラが開いていませんか?	CPRカプラを閉じてください。(P8参照)
	エアホースが折れたり抜けたりして いませんか?	エアホースを接続するか、エアホースを交換してください。
	荷重センサーがカバーの中で 外れていませんか?	カバーを開き、荷重センサーの位置を直してください。
	荷重センサーの表裏を間違えていませんか?	カバーを開き、荷重センサーに貼られている 注意シールの通り組み付けてください。
	マットレスの端など荷重センサー位置を 避けるようにして寝ていませんか?	荷重センサーが内蔵されている、マットレス中央部に寝て ください。

故障かなと思ったら

現　象	確認方法	処　置
人が乗っていないのに ポジショニングセルが ふくらむ （【除圧-体位変換】モードになる）	マットレス上に何か物が載っていませんか?	マットレス上（臀部周辺）に物があれば取り除いてください。 それでも解消されない場合は、 お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	マットレス下に何か物を敷いていませんか?	マットレス下（臀部周辺）に物があれば取り除いてください。 それでも解消されない場合は、 お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	荷重センサーがカバーの中で外れて いませんか?	カバーを開き、荷重センサーの位置を直してください。 それでも解消されない場合は、 お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	荷重センサーの表裏を間違えて いませんか?	カバーを開き、荷重センサーに貼られている 注意シールの通り組み付けてください。
エアセルがふくらまない	エアセルが折れていませんか?	エアセルを整えてください。
	エアホースが折れたり抜けたりして いませんか?	エアホースを接続するか、エアホースを交換してください。
体圧分布モニターの画面が 暗く体圧表示が映らない	体圧分布モニターの画面がOFFになって いませんか?	体圧分布モニターの画面ボタンを押し、 画面を表示させてください。（P7参照）
体圧分布モニターに 異常に高い値が 表示されてる	マットレス体圧センサー上に 何か物が乗っていませんか?	マットレス上に物があれば取り除いてください。
体圧分布モニターに 異常に高い値が 表示されてる	体圧センサーが折れた状態に なっていませんか?	マットレス内部の体圧センサーを確認し、 折れがあれば修正してください。
	体圧分布モニターの感度を 最高レベル（+4）まで上げていませんか?	体圧分布モニターの感度ボタン▼を押し、 基準値（0）に戻してください。（P7参照）
体圧分布モニターに 縦または横一直線に データが表示されない 場所がある	体圧センサーのデータが表示されない場所を 手で押してみてください。	手で押してもデータが表示されない場合は、 お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
人が乗っていても 体圧分布モニターに データが表示されない	体圧分布モニターの感度を 最低レベル（−3）まで下げていませんか?	体圧分布モニターの感度ボタン▲を押し、 基準値（0）に戻してください。（P7参照）
体圧分布モニターに エラーが表示されている	下のような画面になっていませんか? 	体圧センサーとモニターの通信エラーです。 一度コンセントを抜き、スコープの電源を入れ直してみてください。 それでも解消されない場合は、 お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または㈱モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL（082）578-9226
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

注意ランプの光り方

注意ランプが交互点滅する場合

ブザーが鳴り、注意ランプが交互点滅する場合は、エアもれや空気の流れに不具合がある可能性があります。このようなときには、以下の項目を確認してください。
注意表示中はエアセルの空気を遮断します。(マットレスは動きません。)

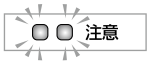
●注意ランプが交互点滅し、【除圧-体位変換】と【体圧調整 切】または【標準 切】が点滅
●注意ランプが交互点滅し、【除圧-圧切替】と【体圧調整 切】または【標準 切】が点滅

確認箇所	現　象	処　置
エアセル	エアセルの一部から空気がもれていませんか?	エアもれしている場合は、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形(折れなど)していませんか?	変形している場合は、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	エアセル・エアポンプの接続ホースに抜けや破損・変形(折れなど)がありませんか?	エアホースが抜けている場合は、接続しなおしてください。 エアホースが破損・変形している場合は、交換してください。
エアポンプ	エアポンプの動作音が聞こえない、またはエアポンプの中から空気がもれる音が1分以上聞こえますか?	エアポンプの内部に問題がある場合は、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

●注意ランプが交互点滅し、【除圧-体位変換】と【除圧-体位変換 切】または【除圧-圧切替 切】が点滅
●注意ランプが交互点滅し、【除圧-圧切替】と【除圧-体位変換 切】または【除圧-圧切替 切】が点滅

確認箇所	現　象	処　置
ポジショニングエアセル	ポジショニングエアセルの一部から空気がもれていませんか?	エアもれしている場合は、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	ポジショニングエアセル・エアポンプの接続ホースに抜けや破損・変形(折れなど)がありませんか?	エアホースが抜けている場合は、接続しなおしてください。 エアホースが破損・変形している場合は、交換してください。
CPRカプラ	CPRカプラが開いていませんか?	CPRカプラを閉じてください。
エアポンプ	エアポンプの動作音が聞こえない、またはエアポンプの中から空気がもれる音が1分以上聞こえますか?	エアポンプの内部に問題がある場合は、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

注意ランプが同時点滅する場合



ブザーが鳴り、注意ランプが同時点滅する場合は、エアポンプ内部や各種センサーに不具合がある可能性があります。お求めの販売店または㈱モルテンまで修理をご依頼ください。

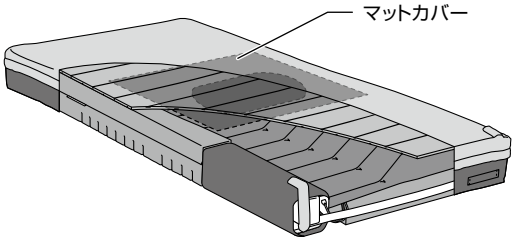
注意ランプとLEDランプの状態	不具合内容と注意表示中の動き
注意ランプ+【体圧調整】+【体圧調整 切】または【標準 切】が同時点滅	圧力センサーの異常 エアセルの空気を遮断します。(マットレスは動きません。)
注意ランプ+【標準】+【体位変換 切】が同時点滅	背上げセンサーの異常 リモコン設定に従って動作します。ただし背上げ検知はしません。
注意ランプ+【標準】+【除圧圧切替 切】が同時点滅	リモコンケーブルまたは内部基板関係の異常 自動体圧調整モードで動作します。
注意ランプ+【標準】+【標準 切】が同時点滅 または【標準】+【体圧調整 切】が同時点滅	荷重センサーの異常 リモコン設定に従って動作します。ただし体位変換はしません。
注意ランプ+【むれ対策】+【除圧-体位変換 切】 または【除圧-圧切替 切】が同時点滅	温度・湿度センサーの異常※1 リモコン設定に従って動作します。ただしむれ対策はしません。

※ボタン操作または電源OFF(コンセントを抜く) で音を消すことが可能です。
電源ボタンの操作、電源OFF(コンセントを抜く)で音を消した場合は、リモコンのLEDは正常に戻り一定時間後に再び注意表示と音が鳴ります。
全自動ボタンや各モード「切」で音を消した場合は、リモコンのLEDは注意表示のままで音のみが消えます。

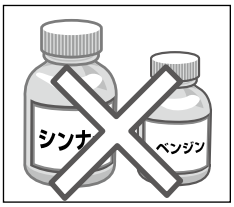
※1：気温の高い場所、気温の低い場所に保管されていたマットレスの設置直後や、リモコン近くに加湿器がある場合などに温度・湿度異常を検知しエラーになる場合があります。しばらく時間をおいて電源を入れ直してみてください。

汚れの落としかた

汚れが少ない場合は、マットカバー表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。
汚れがひどい場合は、マットカバー上部または全体を取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。
洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。
※マットカバーとエアポンプ・背上げセンサー・荷重センサー・体圧センサーを取り外してください。



⃠ エアセル・エアポンプ・背上げセンサー・荷重センサー・体圧センサーなどの内部構成部品は洗浄しないでください。
※ウレタンフォームを洗浄する場合は、事前にお求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。



⃠ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。

⃠ 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。

⃠ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。

⃠ マットカバーが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。

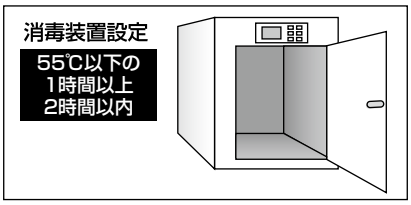
(!) マットカバーを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。

(!) マットカバーを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下で行ってください。

(!) 塩素系洗剤を使用する場合は、表示の注意事項および濃度を確認し希釈して使用してください。濃度が高い場合は、マットカバーが変色するおそれがありますのでご注意ください。

消毒のしかた

消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。
消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でオモテ面を上にして平置きの状態または横向きに立てた状態で曲げずに装置に入れてください。
温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。
装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードはマットカバーの収納ポケットにおさめてください。



⃠ マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。

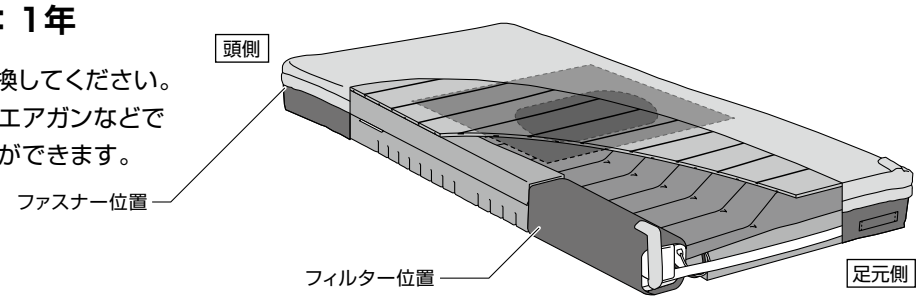
⃠ マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒は行わないでください。

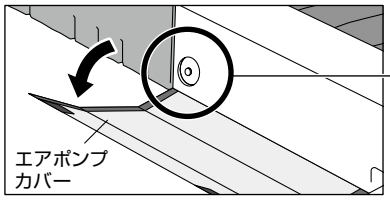
⃠ マットレスをオゾン消毒する場合は、ウレタン層が劣化するおそれがあるので、高濃度（5ppm以上）で長時間の消毒は行わないでください。

フィルターの交換方法

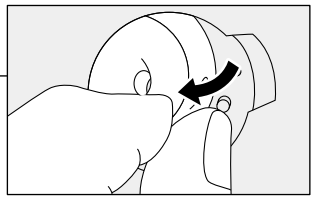
フィルターの交換時期：1年

汚れがひどい場合は、新品と交換してください。
汚れが少ない場合は、掃除機やエアガンなどで
汚れを取り除き再使用することができます。

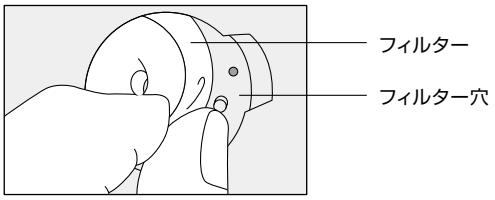




①マットカバーを開き、
エアポンプカバーを外します。
※マットカバーのファスナーは、頭側から
開きます。



②フィルターの端をつまみ、
取り外します。

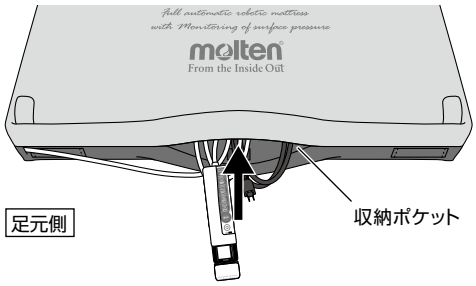


③新しいフィルターを
フィルター穴に取り付けます。

> ⚠ **注意**　専用のフィルターを使用してください。1年に1回は、必ず汚れなどのチェックが必要です。
> ※専用フィルターに関しては販売店にご相談ください。

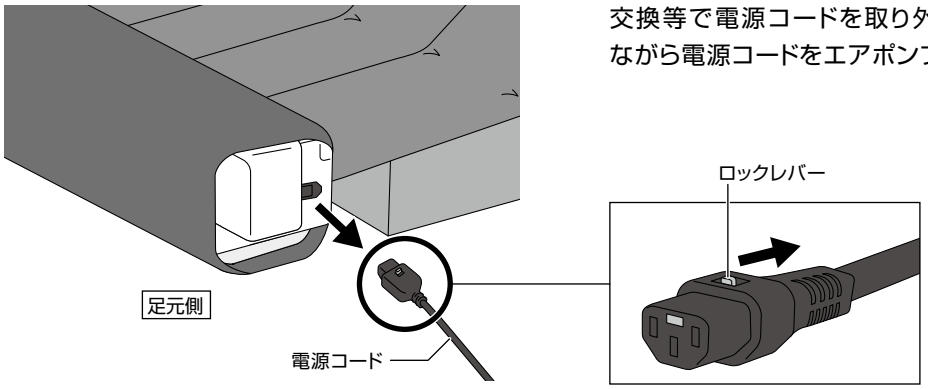
電源コードおよびリモコンの収納方法･交換方法

1　電源コード･リモコンの収納方法



長期間使用しない場合は、マットレス足元側の収納ポケットへ
電源コード･リモコンを収納してください。

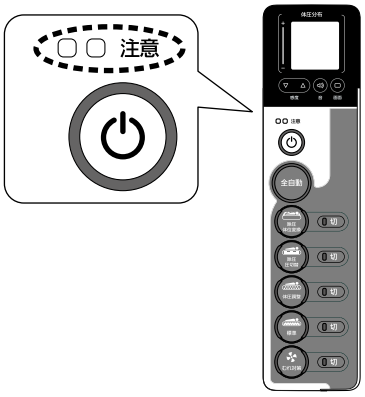
2　電源コードの交換方法

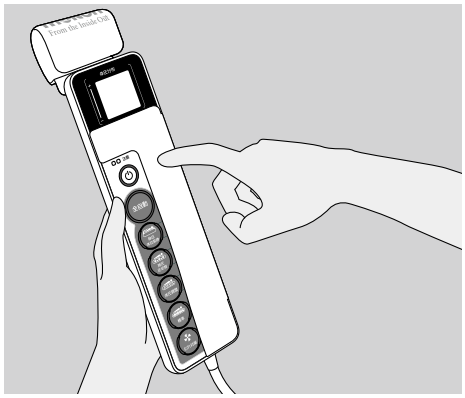


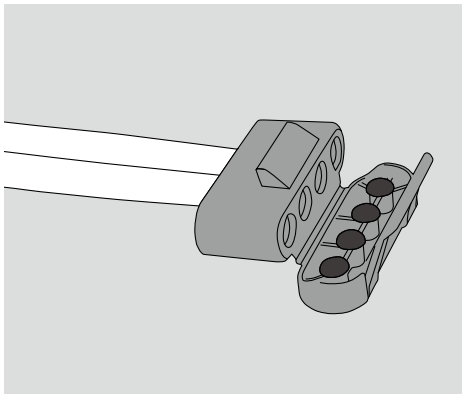
交換等で電源コードを取り外す場合は、ロックレバーを引き
ながら電源コードをエアポンプから抜いてください。

●モニタリングの場合などに行う点検要領

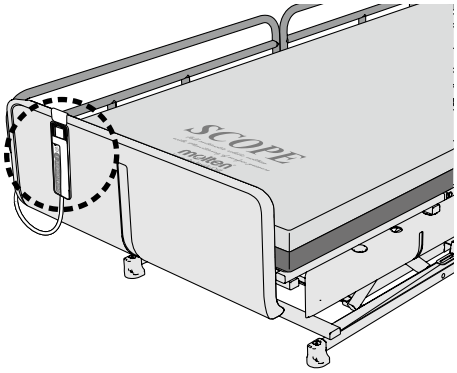
1.動作の点検

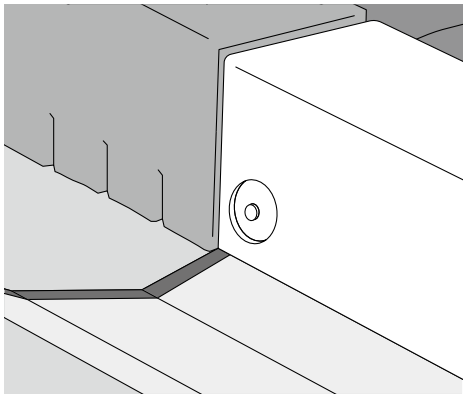
	注意ランプの動作	結果
1		異常あり 異常なし
	注意ランプが点滅していないことを確認します。	

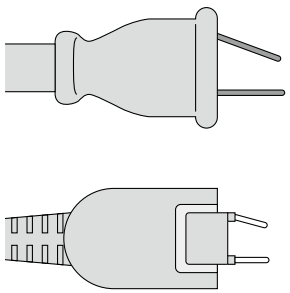
	リモコンの動作	結果
2		異常あり 異常なし
	リモコン各部の動作、ボタンの異常などを点検します。 **異常ありの場合は、修理に出してください。**	

	CPRカプラ	結果
3		異常あり 異常なし
	CPRカプラが閉じているか点検します。	

2.本体各部の点検

	リモコン設置場所の点検	結果
4		異常あり 異常なし
	リモコンには**温度・湿度センサーが内蔵**されています。 **寝具の中や冷暖房器具の近くにあると、むれ対策が機能しなくなる**可能性があるので、フットボードまたはサイドレールに掛けてあるか確認します。	

	フィルターの汚れ	結果
5		異常あり 異常なし
	フィルター取付部のフィルター汚れを点検します。 **汚れがあれば清掃または交換します。**	

	リモコンコードと電源コード	結果
6		異常あり 異常なし
	コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。 **異常ありの場合は、電源コードを交換してください。**	

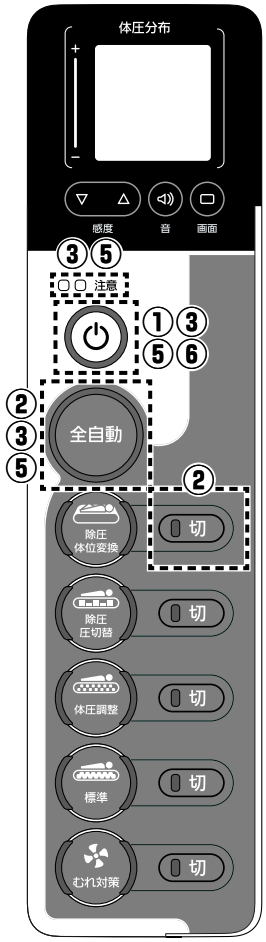
※エアホース外れがないか点検してください。

自動点検の方法（セルフチェックモード）

各部（エアもれ、各種センサーなど）の簡単な点検を自動で行います。
（所要時間：約30分）

注意　セルフチェックを行う場合は、ベッドをフラットにし、利用者様が寝ていない状態で行ってください。

操作方法とチェック内容



①【電源】をOFFにします。

②【除圧-体位変換　切】を押した状態で、【全自動】を押します。

③【注意】、【電源】、【全自動】（緑）の各LEDランプが同時に点滅し、その他のランプすべてが3秒間点灯します。

④エアポンプ・マットレス・各種センサーのチェックを行います。
チェック中は各LEDランプが点検項目に応じて点滅します。

※各項目でチェックの結果、正常であれば点滅表示が消え、異常がある場合は点灯して残り、次のチェック表示（点滅）へ切り替わります。

⑤全てのチェックで異常なく終了した場合は、【注意】、【電源】、【全自動】（緑）の各LEDランプが点灯します。

※セルフチェックの結果、異常がある場合は、注意・電源ボタン・全自動ボタン（赤）の各LEDランプが点灯し、ブザーが鳴ります。また、異常がある箇所を示すLEDランプが点灯してお知らせします。

⑥セルフチェックを終了または中止する場合は、【電源】をOFFにします。

異常時のLEDランプ点灯箇所と不具合の内容

LEDランプの状態	不具合内容
【除圧-体位変換】+【体位変換 切】または【標準 切】または【体圧調整 切】	圧力センサーの異常
【除圧-圧切替】+【体圧調整 切】	エアセル・エアホースの異常
【除圧-圧切替】+【標準 切】	
【除圧-圧切替】+【除圧-体位変換 切】	ポジショニングエアセル・エアホースの異常
【除圧-圧切替】+【除圧-圧切替 切】	
【標準】+【除圧-体位変換 切】	背上げセンサーの異常
【標準】+【標準 切】	荷重センサーの異常
【標準】+【むれ対策】	温度・湿度センサーの異常

保管の方法

⃠ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。

⃠ 変形や破損のおそれがあるので、10台以上積み重ねないでください。

⃠ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。

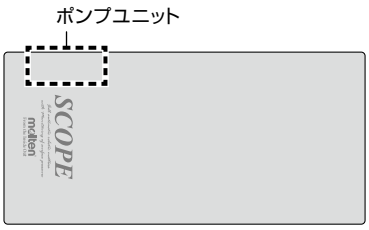
(!) 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

(!) 電源コードとリモコンをマットレス足元側の収納ポケットにおさめてください。

(!) 変形や破損のおそれがあるので、運搬・保管の際には落下させたり衝撃が加わらないよう十分に注意してください。

(!) 浴室や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

(!) 横置きする場合は、ポンプユニットに衝撃を与えないために、マットレス足元側からみて左側（リモコンケーブが出ている側）を下にしないでください。



仕 様

スコープ

品番　MSCP83（83cm幅レギュラーサイズ）／MSCP91（91cm幅レギュラーサイズ）
MSCP83S（83cm幅ショートサイズ）／MSCP91S（91cm幅ショートサイズ）

●素　材　マット：エアセル=ウレタンフィルム
フィッティングフォーム・安定支持フォーム・底づき防止フォーム=高耐久ポリウレタンフォーム
マットカバー：ウレタン合皮（制菌加工）

83cm幅レギュラーサイズ	サイズ：幅83×長さ193×厚さ17cm	重　量：10.5kg
91cm幅レギュラーサイズ	サイズ：幅91×長さ193×厚さ17cm	重　量：11.5kg
83cm幅ショートサイズ	サイズ：幅83×長さ182×厚さ17cm	重　量：10.0kg
91cm幅ショートサイズ	サイズ：幅91×長さ182×厚さ17cm	重　量：11.0kg

●電　　力　AC100V 50/60Hz 14W
●電気代目安　約4.0円/日

■除圧モード時 圧切替：約5分
■リプレイスメントタイプ（ベースマットレス不要）
■マット・ポンプ3年保証
■最大利用者体重：120kg

本製品は国内専用です。
故障や発熱による事故につながるおそれがありますので
海外で使用しないでください。

開発・製造元
ISO9001認証取得
ISO13485認証取得
※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、製造および付帯サービスにて取得
本製品の取扱説明書と使用方法動画は下記QRコードからダウンロードいただけます。
取扱説明書　動画で見る製品情報

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京　札幌　仙台　埼玉　名古屋　大阪　広島　福岡
製品他、各種お問い合せは
〒733-0036　広島市西区観音新町四丁目10-97-21
TEL.082-578-9226
E-mail:health@molten.co.jp
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00
※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2026.01